



# パースの Pop Culture ポップカルチャーは奇なり



(写真左)「ラブライブ!」のコスプレユニット、LOVE ☆ MUSE。(写真右) Facebookの「ジョジョの奇妙な冒険」のファングループ。

「ポップカルチャー」という言葉を、最近何かと耳にする機会が増えた人も多いのではないのでしょうか。今回は、そんなポップカルチャーの大きな玄関口であるマンガやアニメ、ゲームを通して、私たちに身近になったポップカルチャーをご紹介します。ディープなように見えて、実はとっても身近で、誰でも飛び込んで楽しむことのできるポップカルチャーの世界をあなたも覗いてみませんか!?

情報提供・取材協力: SUPANOVA ([www.supanova.com.au](http://www.supanova.com.au))

## ポップカルチャーとは?

日本語で『大衆文化』と一般的に呼ばれるこのポップカルチャーですが、知識や教養がなくても、感覚的に誰もが楽しみ、広く愛好される文学や芸術のことを指します。19世紀までのこのポップカルチャーは、オペラや狂言といった楽しむために知識が必要な芸術(貴族文化が背景のハイ・カルチャー)とは、一線を画していました。しかし、20世紀に入りそれまでの貴族社会から大衆が社会の表舞台に立つ、大衆社会へと世間が変貌する中、今まで貴族や上流階級で楽しまれていた文化や芸術が更に一般的に楽しめるようになり、ポップカルチャーも大きく進化しました。私たちが普段から親んでいる映画や音楽、文芸や漫画、そしてスポーツにファッション、これら全てが、ポップカルチャーのコンテンツなのです。

## ポップカルチャーの歴史

ポップカルチャーが文化のメインストリームとなる足掛かりになったのは、1900年の『パリ万国博覧会』と言われていました。19世紀までの文化を総ざらいし、20世紀への展望を図るというメインテーマを元に開催されたこの万博で、後のポップカルチャーの礎となる建築様式や美術品などが多数紹介されました。そしてその後、芸術が広く一般的なものとして聴衆に受け入れられていき、ポップカルチャーはその時代に合わせて、どんどん新しい流行や定番を生み出していきました。

そのポップカルチャーのカリスマと称される人たちですが、例えばファッション界では、今でこそハイ・ブランドとして誰もが憧れる『シャネル』のデザイナーでもあり、創始者でもあるココ・シャネルや、『サンローラン』の伝説的デザイナー、イヴ・サンローラン。音楽界では現代ロックの原点を作ったザ・ビートルズやキングオブポップ、マイケル・ジャクソン。スポーツ界では伝説のボクサー、モハメド・アリやバスケットボールの神様、マイケル・ジョーダン。アニメや漫画界では、『ミッキーマウス』の生みの親、ウォルトディズニーや世界から愛される『ジブリ』作品の監督、宮崎駿など。彼らはそれぞれの時代、業界でポップカルチャーの旗手として革新的なものを生み出してきました。